

2024年12月12日

横浜市長 山中竹春 様

市民の市長をつくる会 筆頭代表委員 後藤仁敏

「山下ふ頭」再開発事業計画作成に対する申入れ

市民の健康と福祉増進の市政運営に取り組まれていることに感謝申し上げます。

山中竹春市長は2021年8月の市長選挙に「カジノ反対」を掲げ当選されました。このことから「カジノの無い山下ふ頭は市民の願い」として守らなければなりません、山下ふ頭の再開発・事業計画の出発点はこのことを基本に進めることです。そのことは前市長が市民の意見を聞くことをしないことなど民主主義の基本を逸脱してきたからです。

山中市長はカジノ撤回以降、ワークショップの開催など市民の意見を得る施策もしてきました、このワークショップには学生・商店主・家庭の主婦・企業家など様々な市民が参加し年齢構成も多様でした。その中で出されている意見は市民利用施設などを求める声が多く、さらに温暖化対策などを求める意見などもありました。

今回「山下ふ頭再開発検討委員会」から答申を受け事業計画の作成に移行することから、次の内容について申し入れを行います。

1 市民意見の取入れについて

山下ふ頭は戦後にノースピア（瑞穂ふ頭）が米軍に接収されたため、横浜経済の発展に欠かせない貿易港の一つとして市財政を投入して建設され、市と市民の貴重な財産です。こうしたことから約70年近く市経済発展の重要な施設として貢献してきました。そして、山下公園と共に市民のみなさんにその存在意義は大きなものがあります。こうしたことから再開発事業計画については広く市民の意見を取り入れることが必要です。

2 事業計画委員会に市民参加を求めます

今後予定される事業計画検討委員会に市民の参加を求めます。以前の山下ふ頭市民意見募集やワークショップなどは市民意見の募集を行い市としてのまとめは発表されています、しかし、その後の再開発検討委員会は市民の意見とは別に委員の意見発表が行われまとめとなり市民からは進め方に疑問が出ています。自治体の行政運営は住民自治が原則です、事業計画検討委員会には少なくとも3分の1は公募などによる一般市民代表（その半数は女性）を入れること

3 事業計画案に市民の意見を取り入れること

カジノ誘致の時に行われた民間企業の計画案の提出などでなく事業計画案の作成には、市民の意見募集やワークショップなど行い、そこで出された市民意見を取り入れた事業計画とすること。

4 山下ふ頭の再開発事業計画は市民が広く利用する施設などを柱とし緑多く市民の憩いの場所としての役割を持たせること。

連絡先 市民の市長をつくる会 住所 〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9

電話 045-650-1896 FAX045-201-9644 メール y-Simin.jp 担当 菅野隆雄